

## 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策

【12,938百万円】

### 対策のポイント

野生鳥獣による被害の深刻化・広域化に対応するため、緊急捕獲活動や侵入防止柵の機能向上の取組を緊急的に支援します。

### <背景/課題>

- ・近年の野生鳥獣の個体数増加による被害の深刻化、広域化に対応するため、捕獲活動の更なる強化や地域の実情に応じたきめ細やかな侵入防止による集中的かつ効果的な被害対策を緊急的に実施することが必要です。

### 政策目標

野生鳥獣の有害捕獲の強化（30万頭を緊急捕獲）

### <主な内容>

都道府県段階で基金を造成した上で、通常の捕獲目標等を強化した「緊急捕獲等計画」に基づく以下の取組を継続的に支援します。

- （1）野生鳥獣の緊急捕獲活動の支援（捕獲した者への頭数に応じた捕獲活動経費の助成、捕獲個体の焼却等処理の支援）
- （2）地域における侵入防止柵の機能向上の支援

補助率：定額、1/2以内  
事業実施主体：地域協議会等

お問い合わせ先：

生産局農業環境対策課鳥獣災害対策室（03-3591-4958（直））

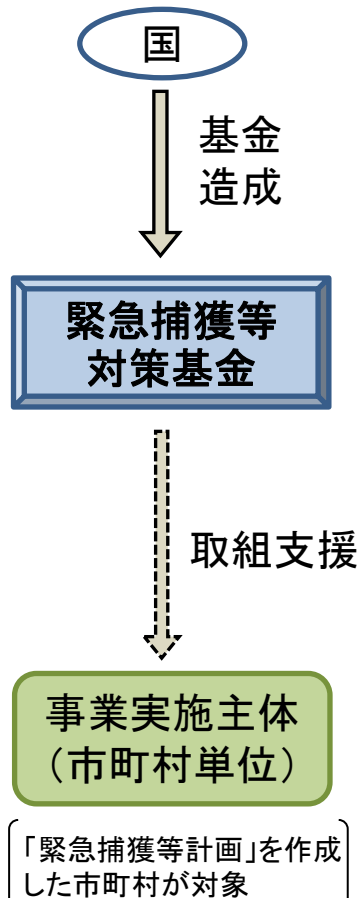
# 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策

【平成24年度補正予算：12,938百万円】

【補助率：定額、1/2以内、事業実施主体：地域協議会等】

- 近年の野生鳥獣の個体数増加によって農作物被害が深刻化・広域化しており、集中的かつ効果的な対策を早急に講じることが必要
- このため、基金を造成し、
  - ① 集中的な捕獲活動により野生鳥獣の個体数を抑制する「緊急捕獲活動」
  - ② 既存の侵入防止柵の延長や強化など、地域の実情に合わせてきめ細やかに対応する「侵入防止柵の機能向上」などの集中的かつ効果的な被害対策の取組について支援

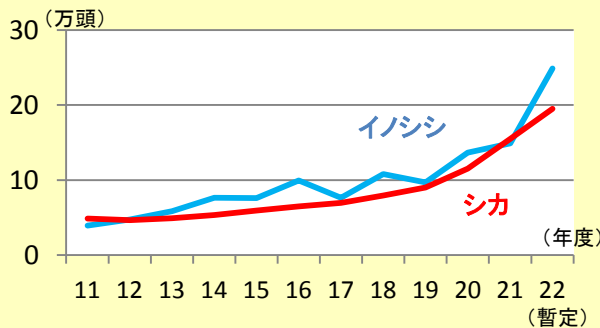
## 【制度の仕組み】



## 【支援内容】

### ○緊急捕獲活動

〈野生鳥獣の有害捕獲の状況〉



- 野生鳥獣の有害捕獲数は増加傾向にあるものの、農作物被害額は近年高止まり
- 被害の深刻化・広域化に対応するため、捕獲活動の一層の強化が必要

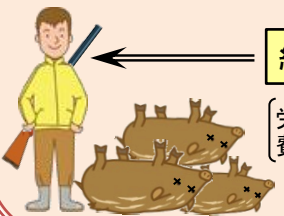


〈農作物被害金額の推移〉

年度	19年度	20年度	21年度	22年度
被害金額	185億円	199億円	213億円	239億円

### 緊急捕獲活動への支援

捕獲した者への頭数に応じた捕獲活動経費支払いや処理費用を支援



個体数を抑制し、将来に渡る被害発生を沈静化

### ○侵入防止柵の機能向上

- 侵入防止柵の整備後も、野生鳥獣の生息域は絶えず変化
- 生息域の変化は自然条件等に影響されるため、予測が困難



### 侵入防止柵の機能向上への支援

- ① 既存の侵入防止柵の延長・かさ上げ、
- ② 単一獣種対応から多獣種対応へ強化等の機動的な整備を支援

地域の実情に合わせてきめ細やかに対応し、被害を防止